

5 課題改善のための方策 * 学力向上プランの中間評価及び今後の取組

＜ア-2 学校改善プラン＞

	取 組 内 容
<p>〈視点1〉 授業づくり</p>	<p>【成果（○）と課題（●）】</p> <p>「校内研修をもとにした授業改善」</p> <p>○各教科等の授業では、一人一人に考えを持たせること、互いに考えを伝え合う場面や活動を取り入れ、授業の改善を進めることができた。</p> <p>「個に応じた指導の充実」</p> <p>○少人数指導、放課後学習、退職人材等活用事業において、自力で問題解決を図ることができる指導を徹底することにより、基礎基本の定着および学習意欲の向上につなげることができた。</p> <p>「各種検査結果の効果的な活用」</p> <p>○検査結果を把握するとともに、学力向上Webシステム、フォローアップシートを活用し、基礎基本の定着及び苦手分野の克服を図ることができた。</p> <hr/> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の取組を継続し、授業力の向上に努めるとともに、学習指導要領改訂に向けた取組を進める。 ・学力向上Webシステム、フォローアップシートを活用し、学習内容の確実な定着を目指す。
<p>〈視点2〉 環境づくり</p>	<p>【成果（○）と課題（●）】</p> <p>「学習規律の徹底」</p> <p>○学習規律について教職員間で共通理解を図り、全校で統一した指導の徹底を図ることができた。</p> <p>○児童の自己評価を定期的実施するとともに個別指導を行い、指導に生かすことができた。</p> <p>「放課後学習の充実」</p> <p>○退職教員等活用事業及び校長、教頭、教務主任、少人数指導教諭も担当し、よりきめ細やかな指導にあたることができた。</p> <p>「長期休業中の学習サポート」</p> <p>○補充学習を計画的に行い、学習内容の確実な定着を図ることができた。</p> <p>●より多くの児童が参加できるようなよびかけの工夫が必要。</p>

	<p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬期休業中に実技研修を行い、ICTの効果的な活用についての研修を行う。 ・2学期の児童の振り返りの結果から、学習規律について指導が必要な項目を挙げ、全校での徹底及び児童への指導に生かしていく。
<p>〈視点3〉 習慣づくり</p>	<p>【成果（○）と課題（●）】</p> <p>「家庭学習の手引きの活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習について、具体的に児童に指導するため、手引きを活用し、継続的な取り組みとなった。 ○職員間で実態交流し、全校での徹底を図ることができた。 <p>「家庭での習慣・生活習慣についての啓発」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○参観日や学級通信、生活便り等を通して、家庭学習の習慣や家庭でのルール、生活習慣づくり等について啓発することができた。 ○教職員と保護者、地域の方々と交流することにより、家庭学習の習慣や家庭でのルール、生活習慣づくり等について啓発することができた。 <hr/> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者アンケートの中で、家庭学習での取組状況や時間などを把握し、指導にいかしていく。 ○教職員と保護者、地域の方々との交流の場を設定する。